

校 園 名 : 佐賀大学教育学部附属幼稚園

キーワード : 「幼稚園は楽しいところだ」と思える入園面接

先進的取組について

本園は、受験した子どもが「わー、楽しかった！幼稚園って楽しいところだね」と思える入園面接を目指しています。

誕生日の近い子どもを6人1組にして、ゆうぎ室で遊びます。ある年の面接を紹介しましょう。

身体を動かす（トンネルをくぐったり、階段を上ってピョンと飛び降りたり、1本橋を渡ったりする）

→大型絵本を見る（保育者が「はらぺこあおむし」の大型絵本を青虫のぬいぐるみを登場させながら読みます。子どもたちはじゅうたんに座って見ます）

→作ったり描いたりする（色画用紙やモールやシールを用意しておき、あおむしのお面を作ります）

→なりきる（あおむしのお面をかぶってあおむしになります。壁に貼った葉っぱをむしゃむしゃ）

→動く（スパークハーフを身体につけて蝶に変身。あたりを飛び回ります）

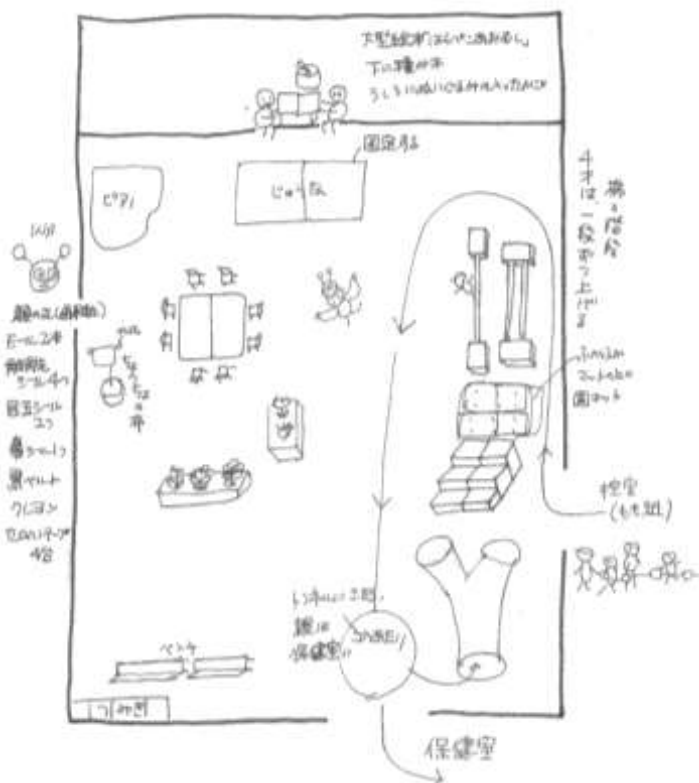
→ごっこ遊び（「おなか、すいちゃった！」ひとりの保育者の声に「いらっしやいませ。ケーキいかがですか？」とお店屋さんが出現。「いちごケーキください」むしゃむしゃむしゃ）

こんな感じです。

おうちの人は、隣の保健室で待ってもらいますが、離れられなくて泣いてしまう子どももいます。そんな時は、おうちの人にそばで見守ってもらいます。

そうです。おうちの人に見られてもいい面接なのです。附属幼稚園の面接ってこんなことしてたよと、うわさになるでしょう。そこがねらいです。3歳くらいの子どもは、こんなことをして遊ぶことが大切なのですと伝えたいのです。

固まってしまう子もいます。走り回る子もいます。だけど、この子には特別な支援が必要かどうかはわかります。本園には保育発達支援員がひとりいます。受け入れることが可能か話し合います。それから、抽選をします。



「面接の打ち合わせ」の時の提案図

問い合わせ先 : 0952-24-2745

shogomor@cc.saga-u.ac.jp